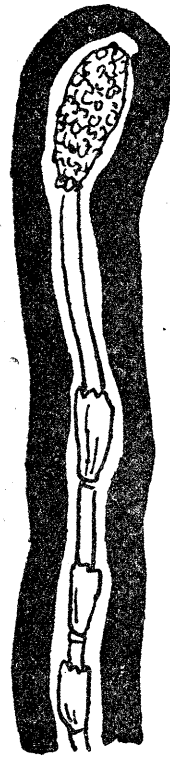


保育研究の方法について



N.T.

角 尾 稔

1、保育研究についての関心

人間一生の成長発達の上から、幼児期が如何に大きな意義を有するものであるか、ということについての社会や親たちの関心がここ数年来とくに深まって来た。よりよい環境をおさないう子どもに与えたいと願う親達の願いが幾分達成されて、この数年ほど多数の幼稚園、保育所の設立されたことは、日本の教育史上に未だかつてなかったといえるほどである。

こうした保育の施設に対する関心の昂まりとともに、幼児保育のあり方に対する研究熱も非常に盛んである。実際、この数年間ぐらゐ、保育についての研究会が盛んに開催されたことは、全くなかっ

たのではなからうか。大は、全国的な保育学会、幼児教育研究会、保育大会、地域的な研究会などから、個々の幼稚園の研究発表会に到るまで、実際毎週どこかで大なり小なり保育の研究会が開催されているといつてよいほどである。

2、自分の問題の発見

こうして盛んに保育の研究がとりあげられるがその内容について考察してみると、その出発点に二つの類型があるように思われる。

第一は児童や青年や成人の教育学上あるいは心理学上の問題を解決するために、幼児に対する保育上の問題が問題としてとりあげられたいと思われものである。第二は、幼児を幸福にせんとするために

とりあげられた保育の研究である。

第一の型の研究は、児童、青年、成人の教育や心理が問題となる
とき、これをより未発達な段階に移して考え幼児の保育上の問題を
解決することによって、その後の教育学や心理学上の問題の解決の
糸口を見出そうとするいき方である。これに反して第二の研究は、
現実と直面している幼児自身の幸福をいかにしてもち来たらすべ
かということから出発した保育の研究である。

二つの型の研究は決して水と油の如き相反したものではない。
両者は出発点こそ違うが、研究の結果はお互に裨益し合うものであ
る。

しかし、幼児の幸福を念願する者にとつて幼児保育のあり方を徹
底的に追求することを忘れた児童、青年、成人の教育は、いわば砂上
の樓閣に過ぎないものであることがとくに痛感させられる。最近の
傾向をみると児童期、青年期の教育即ち、小中高の教育上の問題は、
それは児童、青年の問題ではなくしてむしろ幼児期の問題である、
と一部の人々によって目覚められたといえよう。もちろん幼
児期は幼児期の特色があり、児童期、青年期それぞれがそれぞれの
発達上の特性を持っている。そして教育はその対象となる子どもの
発達上の特性によって考えられなければならないことは、当然であ
る。しかし、こうした成長の過程を幼児、児童、青年という発達段
階に、全く分けてしまい、一人一人の人間が、幼児期から、次第に
児童、青年とたどっていくことを忘れてしまって、それぞれの時期

の真の特性は擱めつこないと思われる。

本誌の大多数の読者の方々に私は、保育の研究が、幼児の幸福を
願う心情からとりあげられその研究の成果を通じて、その後につづ
く教育——小中高の教育のあり方を考え直して貰えるようになるこ
とを念願して止まない。実際歴史上に残る有名な教育学者たちは皆
幼児保育の研究に出发して、それぞれの独自の教育理念を打ち立て
たのである。

これを特にとりあげていうのは実際に私が受持っているいくつか
の保育学校の卒業生や、あるいは全く見ず知らずの現場の先生や保
母さんから受け取る質問の中に、何か研究をしたいのですが、どん
なことをやったらいいでしょうかという質問が、おそらく三〇%以
上は占めている。私は既になれつこになつてしまったから、おやま
ただなどと思うだけであるが、考えてみれば全く残念なことである。
保育が、勸や古い資料をもとに、十年一日の如く行われていて何の
迷いもないのなら問題もないかもしれない。然し毎日子どもを前に
おき、どう保育すべきか困っているのならその困っている現実から出
発して、保育の研究を進めなかつたなら、真に自分の熱情をそそぎ
うる研究は期待しえない。

5、問題と研究方法

保育研究の問題が擱めたならば、その問題の性質がどんな研究方
法でやれば解決に導くことが出来るかを決定する。いいなおせば、

問題によって自然に方法が決ってくるのである。しかし、その前にしなければならぬことは、その問題について従来行われた研究を探索することである。

こうした点で参考になる図書は、次ぎの二冊である。

- (1)、武政太郎著 最新発達心理学(上) 世界社
- (2)、教育研究事典 金子書房

前者はとくに心理学関係の問題について縦糸の研究を探るのに役に立つと思う、巻末には項目別にして索引がついている。ただおしいことには「世界社」が現在ではなくなつてしまつていたので直接会社から買うことができない。しかし、一時は半値以下の値段で特価本屋に沢山見ることができたし、現在でも新しい本のままで街の古本屋に相当沢山見ることができ本である。後者の教育研究事典は、個人で購入するのは大書であるが、沢山の専門家によって書かれた立派な書物である。項目別にして大概の研究は紹介されている。

こうした書物を見て、理解されることは随分沢山の研究が一つの積み重ねの上にぎざかされてゐることである。それ故この問題についてどう考えどのように処理するとよいのかと思えば、一応今までの研究の結果を検討して見ることである。同じ様な研究の中から自分の問題として見ることが、これまで如何に考えられているかというところが、次第に分つて来る。また同時にその問題をどういう観点から取り上げているか、それ故どんな研究方法がとられて来たのか

ということがわかるものである。

さて、これまでの研究を検討することと同時にまたはその後にするべきことは、自分の問題に対しておよその見通しをつけることである。物理化学なども同じであるが、実験はなんべんもくりかえすことによって、そのうちに法則の如きものが見つかつてくるように考へることは間違いないである。研究はあらかじめ、何らかの見通しをつけてやるのがよい。自分が疑問とするものの原則として、考えられるものに何と何と何と何とがあるというように、いくつかの原因と思われれることをあげてみることである。私たちは常にそうした、予想の上に、新しい仮説の上に立つて研究し、その仮設が間違いであればさらに、残つてゐる原因と思われれるものが本当に原因であるかどうかを検証して行くという方法を取るべきだ。

こんな原則的なことを書くのも、実は現場の先生がたからとにかくこんな記録をとつて見たがこれから何か問題と結論が引出せないかといつて大きな記録を持ちこまれて当惑させられた経験も何度かあるからだ、こうした資料は、計画がずさんであるというよりは、ほとんど無計画に近いものさえある。それ故、たとえいくつかの問題発見の糸口にはなつても、結論として導くことのできることは、当事者にとつて興味の少ないものとなつてしまふものなのである。

4、研究問題

どんなことが問題であるかという点について、保育者の立場につ

いて述べてみよう。

幼児心理学や、教育学、保育学などに書かれている内容は、多く一般的な問題についての傾向である。しかし保育者が問題とする、この子どもについての問題この幼稚園についての問題は、特殊な事例であつて、一般的な傾向によつてそのまま解決されないことが大部分である。

園における困つた子どもの問題、効果的な保育方法、環境改善をどこからどう始めるか等々の問題は保育の現場の中に無数に存在している。そしてこれらの多くは、保育者の努力なくしては、誰れも解決しに来てくれるものではないのである。保育のための保育研究である。子どもを幸福にすることを念願する保育者にとつて、問題だらけの保育であるはずである。自分の園の者同志では解決されない問題も沢山ある。子どもたちのために保育者同志研究に役立つ連絡をとり、研究会を持つようにしよう。それは決して承わります式の講習会講演会ではない筈だ。

5、一般的な研究方法

保育研究に用いられる研究方法をあげると次ぎのとおりである。

1、観察法

自然観察法（行動記録逸話記録法）
実験観察法

2、面接法

3、質問紙法

4、測定法

5、テスト法

6、プロジェクトイフ法

7、評定法

8、作品法

以上の方法は、研究課題に対してどの方法が適しているかという観点から、選択されるのである。また、必要に応じて二つ以上の方法が採られる。各研究方法についての具体的な説明は、他の書物を参考にしていただくことにする。

教育が成長する人間を対象にする点、物理化学などと自ら異つた研究方法が生れて来るのは当然である。こうした点で上記の諸法を運用する際に、統制群による比較研究法や双生児法を用いる必要も時に生じて来る。性、年齢、知能、家庭環境などの観点から相等的いと考えられる二つの集団に対して教育の方法を変えて行いその結果を比較し、その教育の影響の相異を發見するのが前者であり、同様のことを一卵性双生児に対して行うのが後者である。保育の前進のために、ぜひともこうした比較研究が実践されなければならぬ。比較研究を行わなければ、効果的な保育方法の改良に進めることは出来ない。ある幼稚園ある保育園でたとえ効果的であると考へられた保育の方法もそれはその時その場の幼児の特殊な諸条件の結果かも知れないからである。

▷昭和30年度實際指導研究会日程表◁

日	6月11日(土)		6月10日(金)		6月9日(木)		日
会場 時間	幼稚園	小・中・高 (参観)	幼稚園	小学校	幼稚園	小学校	会場 時間
8.30	分科研究協議会 (保育内容とその指導について)	朝会 話し合い 公開学習指導	実地保育	小学校	開会のあいさつ	研究会案内	8.30
8.40							9.00
8.45							9.10
8.55							9.20
9.00	分科研究協議会 (保育内容とその指導について)	朝会 話し合い 公開学習指導	実地保育	小学校	開会のあいさつ	研究会案内	9.40
9.50							10.00
10.50							10.10
11.00	吉田助教授 講演(講堂)	研究協議会 (ゆうぎ室) 発表 佐々木教諭	小学校	小学校	講演(講堂) 嶺山学長 (藤田文教育 学部長)	講演(講堂) 嶺山学長 (藤田文教育 学部長)	11.00
11.50							11.50
12.00	開会のあいさつ	研究協議会 (ゆうぎ室) 発表 佐々木教諭	昼食 レクリエーション	小学校	講演(講堂) 水原助教 研究協議会	講演(講堂) 水原助教 研究協議会	12.00
12.00							12.10
	開会のあいさつ	研究協議会 (ゆうぎ室) 発表 佐々木教諭	昼食 レクリエーション	小学校	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	1.00
							1.30
	開会のあいさつ	研究協議会 (ゆうぎ室) 発表 佐々木教諭	昼食 レクリエーション	小学校	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	2.00
							3.00
	開会のあいさつ	研究協議会 (ゆうぎ室) 発表 佐々木教諭	昼食 レクリエーション	小学校	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	講演(講堂) 波多野教授 分科研究協議会	3.00
							4.00

○六月の教育實際指導研究会の期日が上のよう
に決まりました。
お知らせ致します。
昭和三十年五月
お茶の水女子大学附属幼稚園内
幼児教育研究会

結び

「保育研究の方法」の問題は、保育に対する問題意識から出発しなければならぬ。研究方法は研究対象となる問題の性格が決定するのである。保育者の保育研究には、保育者にしてはじめてなし得る問題領域のあることを認識していただきたい。古い研究の追試も

悪いことではない。しかし多くの研究者が追試の結果の如何から、一歩も進まないのは残念なことである。重ねて望みたいことは、保育研究会のための保育研究ではなく、明日の保育のための保育研究が、現場の保育者によつてなされることである。

(東京学芸大学)